

南小たば風通信 2018

平成31年1月18日(金) 第32号

厚沢部小学校公開研究会 参加レポート

佐藤です。年が明けました。平成最後の年明けです。今年もよろしくお願いいたします。

今号では、昨年末に参加してきた厚沢部町立厚沢部小学校の公開研究会の様子をご報告します。

厚沢部小学校は母校でもあり、初任校でもあるので、懐かしく楽しみにしながら参加させていただきました。

さて、本題の公開研ですが、厚沢部小学校は今年度から学校力向上指定校になったので、大急ぎで準備を進めてきたことを職員の方から伺いました。参加した内容の順にまとめていきたいと思います。

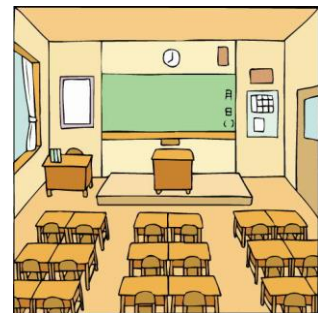
1. 全体発表

この短期間で多くの資料をまとめたので、大変だったろうなあというのが第一の感想です。南小と似ている内容が多かったですが、特に印象深かった内容を紹介します。

◎分掌改革…行事消化型から目標達成型の分掌へ

校務分掌名の変更について () 内に旧名称を記載しています。

- 教務・教育課程改善部 (教務部)
- 学力向上部 (研究部)
- 生活力向上部 (生活部)
- 健康・体力向上部 (保体部)
- 行事推進部
- 今日的な課題解決部 } (学習部)
- 特別支援教育推進部 }
- 経営支援部 (事務部)



◎各教科の授業改善ポイントと学習ポイント (学年ごと) の設定

(例) 国語の授業改善ポイント

①	条件を与えて文章を書く学習を行う。 (○字以内で、□□の言葉を使って)
②	引用して文章を書く学習を行う。
③	主語と述語の関係に注意して書く。
④	目的に合わせて複数の本や文章を選んで読む学習を取り入れる。

(例) 算数の学習ポイント (5年生)

①	条件に合わせて文章を書こう。 (○字以内で、□□の言葉を使って)
②	式の意味や根拠を、言葉で説明したり、書いたりする学習をしよう。
③	「単位量あたりの大きさ」「百分率」に時間をかけて学習し、復習しよう。
④	「百分率」の問題では、2つの数直線に表して考えよう。

というように、教師用と児童用のポイントを設定していました。

2. 公開授業

4年生の国語「ごんぎつね」を参観しました。指導案は簡素化されたものでした。

①単元・教材名

②単元の目標・指導計画・評価規準・主体的対話的で深い学びの位置づけをまとめた表

③本時案 (1) 本時の目標

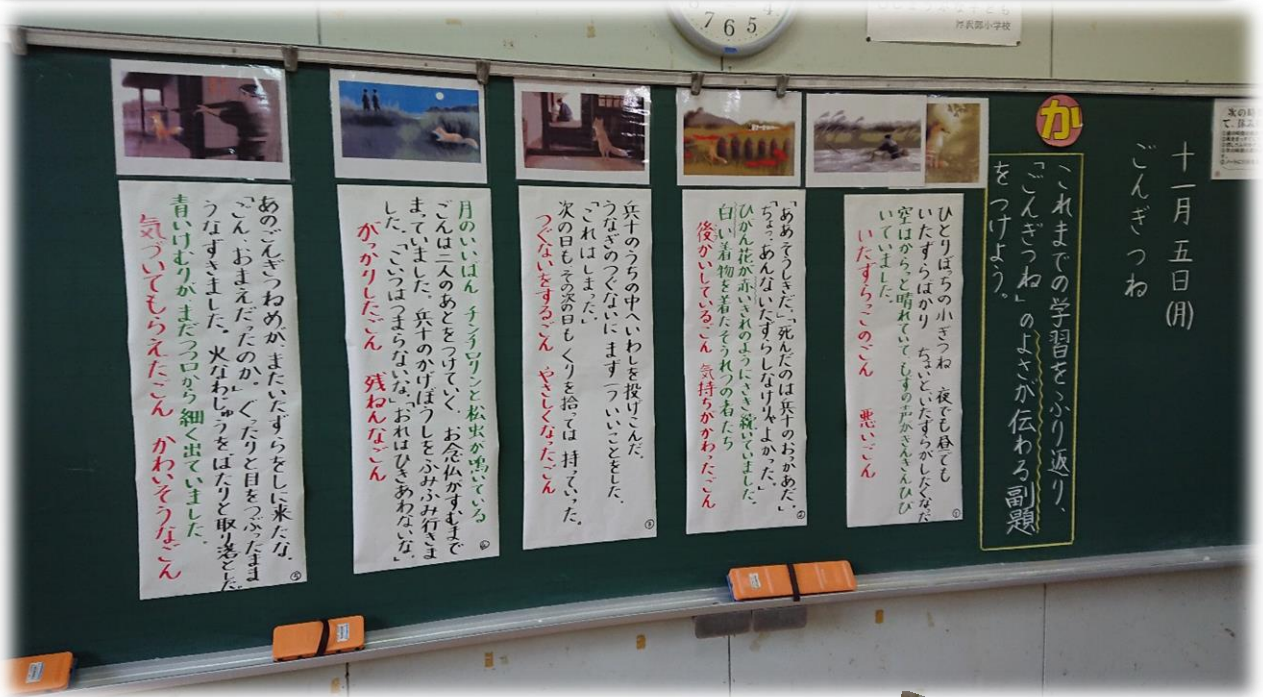
(2) 本時の評価規準

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現

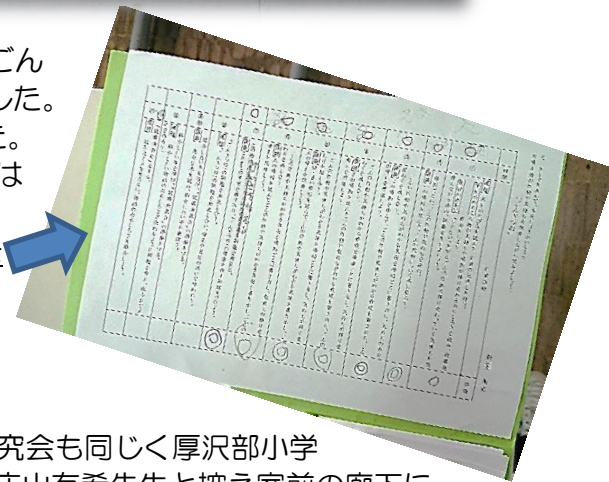
(4) 全国学力・学習状況調査を踏まえた授業改善のポイント

(5) 板書計画

※本時の流れ(学習活動、発問、配慮事項、評価規準など)の記載はありませんでした。



☆授業は、ごんぎつねの場面ごとのあらすじを確認した後、ごんぎつねに読み取った内容を根拠に副題をつけるという授業でした。児童それぞれが考えたことをワークシートに記していきました。☆考える時間が主で、少人数で考えを交流した後に、全体発表は数人行うという流れでした。☆ワークシートの最後には、この単元の毎時間のふりかえりを書き込めるページがありました。



3. おまけ

厚小公開研が行われた数日後には、檜山管内特別支援教育研究会も同じく厚沢部小学校で開催されました。その時に一緒に参加した中山校長先生、庄山有希先生と控え室前の廊下に飾られている卒業生の集合写真を眺めました。そこで、私が6年生だった頃と卒業担任をしていた頃の2枚の写真の他、8年前に6年担任をしていた髪が少しツツン立っていた福山先生や今とほぼ顔が変わっていない齋藤裕奈先生、そして、庄山有希先生の旦那さんの写真を「ウォーリーをさがせ」のように見つけて、楽しい時間を過ごしました。

今年度も残り約2ヶ月。職員のみなさんも体にお気をつけて、自分にできることを頑張っていきましょう！